

令和5年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

【第5講座を開催して】

10月17日（火）に、秋吉公民館において、令和5年度美祢市人権教育ふれあい講座（第5講座）を開催しました。

今回の講座は、美祢市教育委員会事務局生涯学習スポーツ推進課で社会教育主事を務める内山 知憲（うちやま ともりの）主査が講師を務め、『ハンセン病問題』をテーマに、「ハンセン病問題の今～解決すべき課題とは～」と題した講座を実施しました。



同氏は、本年8月23日・24日に岡山県瀬戸内市にある国立療養所、「長島愛生園」と「邑久光明園」をそれぞれ訪問しており、そのときの学びや体験を中心に講演を行いました。

受講された皆さんは、入所者である自治会長さんと療養所職員からの話や、現地の現状や展示物の写真等から、「ハンセン病」に関わった方たちの苦悩に対する理解を深め、現在もなお残る偏見や差別の存在に対する問題意識を高めることができました。

ハンセン病問題に限らず、社会の中にある偏見や差別による問題は、誤った認識や思い込み、そして誰もがもつ「弱さ」によって引き起こされています。一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて、今後も正しい知識と偏見や差別の現実を知るために、様々な人権課題について学び続けていくことが大切であると思います。

【受講者の主な感想】

- 無知による人権侵害の恐ろしさが改めてよくわかりました。正しい知識を持ちたいと思いました。
- ハンセン病問題の実態がよくわかりました。このような問題に無関心ではなく、今後について真剣に考えていかなければならないと思いました。ありがとうございました。
- とても内容が濃いお話でした、このようなことを今後繰り返さないために、この事実を、多くの人達が知っておく必要があると思いました。
- ハンセン病について詳しく知る機会がなかったので、とても勉強になりました。
- ハンセン病について療養所の実際など詳しい内容を知ることができました。